

第62回全国母子生活支援施設研究大会 開催要項

大会テーマ

子どもの最善の利益を保障する家族支援充実に向けて ～都道府県社会的養育推進計画策定を見すえて～

1. 趣 旨

国は平成30年7月6日付で、厚生労働省子ども家庭局長通知「『都道府県社会的養育推進計画』の策定について」を発出しました。同局長通知には、平成28年・29年の改正児童福祉法等を受けて新たに策定する都道府県社会的養育推進計画（以下、推進計画）の策定要領が示されています。「推進計画の策定要領」では、母子生活支援施設の活用について言及されるとともに、母子生活支援施設は、従来から母子を分離せずに入所させ、家庭養育の支援を実践してきた施設であり、そのニーズに応じて利用されるよう改めて周知するとされました。

母子生活支援施設は児童虐待の防止や早期発見、特定妊婦支援、多様な課題を抱えるひとり親への支援、地域や家庭と「切り離さないケア」の拡充等多くの期待に応えることができる施設です。

そのためには推進計画策定を見すえ、ひとり親家庭の支援拠点たる母子生活支援施設の存在を社会に発信していく必要があります。

本研究大会では子どもの最善の利益保障を視野に入れ、全体会のほか3つのテーマで分科会を設け、母子生活支援施設での充実した家族支援や地域に向けた支援を考えることを目的に開催いたします。

2. 主 催

社会福祉法人全国社会福祉協議会 全国母子生活支援施設協議会
鳥取県母子生活支援施設協議会

3. 後 援（予定）

厚生労働省、鳥取県、社会福祉法人鳥取県社会福祉協議会
全国母子寡婦福祉団体協議会、全国母子・父子自立支援員連絡協議会

4. 期 日

平成30年11月21日（水）～22日（木）

5. 会 場

「ホテルニューオータニ鳥取」〒680-0822 鳥取県鳥取市今町2-153

TEL：0857-23-1111（代）FAX：0857-23-0979 [最寄駅] JR鳥取駅より徒歩3分

6. 参加対象（定員250名）

- (1) 母子生活支援施設の役職員（法人の役員および施設長、職員）
- (2) 都道府県・指定都市・中核市・市区町村行政の母子・児童福祉関係者
- (3) 社会福祉協議会の母子・児童福祉関係者
- (4) 児童養護施設等の社会的養護を担う児童福祉施設の役職員、里親及び関係者
- (5) 母子・父子・寡婦福祉団体関係者、民生委員・児童委員、母子・父子自立支援員 等

7. 参加費 17,000 円

8. 交流会費 8,000 円（宿泊・昼食代等は別途申込書をご参照ください。）

9. 日程、プログラム

プログラムに記載した【領域】の説明は、別紙をご覧ください。

【1日目：11月21日（水）】

12：00～13：00	受付
13：00～13：30	開会式・永年勤続表彰
13：30～14：15	行政説明 厚生労働省子ども家庭局家庭福祉課 【領域④⑧】
14：15～15：15	基調報告 全国母子生活支援施設協議会 【全領域】
15：15～15：30	休憩
15：30～17：30	シンポジウム 【領域①、③～⑥】 「子どもの最善の利益を保障する家族支援充実に向けて」 〔シンポジスト〕 稲垣 美加子氏（淑徳大学総合福祉学部社会福祉学科 教授） 芹澤 出（全母協 副会長） 〔コーディネーター〕 山崎 美貴子氏（神奈川県立保健福祉大学 顧問・名誉教授）
17：30～18：20	休憩
18：20～20：00	交流会 ホテルニューオータニ鳥取

【2日目：11月22日（木）】

9：00～12：00	テーマ別分科会 第1分科会「妊娠期からのひとり親支援の取り組み」 【領域①～⑦】 妊娠期から支援することの必要性や支援のポイントについて事例発表をもとに討議します。 〔助言者〕 中島 尚美氏（大阪市立大学大学院 特任准教授） 〔発表者〕 ① 氷室 飛鳥氏（カサ・デ・サンタマリア こども担当） ② 丸山 由紀氏（ハピネス・ハーク 母子支援員（統括マネージャー）） 〔進行〕 永塚 博之（全母協 総務委員） 第2分科会「親子関係再構築支援の取り組み」 【領域①～⑦】 母子生活支援施設の活用促進に向けて、親子関係再構築支援について事例発表をもとに討議します。 〔助言者〕 伊藤 嘉余子氏（大阪府立大学人文科学系 教授） 〔発表者〕 ① 海田 泰隆氏（大阪魁プロジェクトチーム委員長・東さくら園）、 栗田 将格氏（同 副委員長・ルフレ八尾） ② 中田 陽子氏（倉明園 母子支援員・主任） 〔進行〕 川口 学（全母協 総務委員）
------------	--

	第3分科会「地域支援に向けた取り組み」【領域⑤～⑧】 社会福祉法人制度の改革により地域における公益的な取り組みの実施が社会福祉法人の責務となっています。母子生活支援施設の地域支援に向けた取り組みについて事例発表をもとに討議します。 [助言者] 稲垣 美加子氏 [発表者] 平野 覚治氏 (一般社団法人全国食支援活動協力会 専務理事) 岡崎 史子氏 ((福) 千葉ベタニヤホーム 児童家庭支援センター・このだいの相談員)、 谷澤 渚氏 (同 心理療法担当職員) [進行] 福田 眞弓 (全母協 総務委員)
12:00～13:00	昼食休憩
13:00～13:35	第43回(平成29年度)資生堂児童福祉海外研修報告会【領域③～⑦】 山崎 佑喜氏 (ハピネス・ハーク 少年指導員)
13:35～13:45	休憩
13:45～15:15	講演【領域①～③、⑥】 「社会福祉施設職員の利用者支援における心構え」 山田 修平氏 (学校法人藤田学院 理事長)
15:15～15:20	大会総括
15:20～15:30	閉会式

【タイムテーブル】

		12:00	13:00	13:30	14:15	15:15	15:30	17:30	18:20	20:00
21日 (水)			受付	開会式	行政説明	基調報告	休憩	シンポジウム	休憩	交流会
22日 (木)	テーマ別分科会	昼食休憩	海外報告	休憩	講演	大会総括	閉会式			
	9:00	12:00	13:00	13:35	13:45	15:15	15:30			

10. 参加申し込みおよび宿泊・交流会申し込みについて

(1) 別添の「参加・交流会・昼食・宿泊 申込書」に必要事項を記入のうえ、東武トップツアー(株)鳥取支店まで、ファクシミリでお申し込みください。

申込締切日：10月23日(火)着、先着順

定員に達した時点で、受付を締め切る場合があります。あらかじめご了承ください。

(2) 開催日の10日～1週間前をめどに、大会参加券・交流会参加券・昼食券、交通案内等をお送りします。大会当日は忘れずにお持ちください。

(3) 申込締切日以後の参加費の返金はいたしません。資料の送付をもって対応いたします。宿泊・交流会・昼食のキャンセルは、別途記載の所定の取消料をいただきます。

11. 必要な配慮について

手話通訳、要約筆記、磁気ループの設置のご希望や、車いすを使用するなど参加時に配慮が必要な方は、申込書の備考欄にお知らせください。

その他、不明な点やご要望は、「15. お問い合わせ先」の全母協事務局で事前におうかがいします。

1 2. 個人情報の取扱いについて

(1) 個人情報の利用について

参加申込書に記載された個人情報は、全母協事務局と担当旅行代理店、大会会場が、参加申込受付・管理、参加にあたり、宿泊等のサービス提供等、本大会の運営に必要な範囲内で共有し使用します。

(2) 参加者名簿の作成について

大会参加者の交流を図るため、参加申込書に記載された情報をもとに、参加者名簿（都道府県名・所属施設名・役職名・氏名）を作成し、当日参加者に配付します。

1 3. 保険加入のご案内

主催者が参加者全員分の行事用保険加入を申込みます。この保険では、研修参加中および往復途上のケガや賠償責任が保障されます。

1 4. 出展のご案内

各都道府県における活動の取り組み等のご紹介や成果物の販売等の出展を受け付けます。ご希望される方は「出展希望確認書」をお送りしますので、「15. お問い合わせ先」の全母協事務局までご連絡ください。

申込締切日：10月23日(火)着、先着順

※希望者が多い場合はお断りすることがあります。あらかじめご了承ください。

1 5. お問い合わせ先

[事務局・大会内容]

全国母子生活支援施設協議会 事務局（担当：小林）

〒100-8980 東京都千代田区霞が関 3-3-2 新霞が関ビル 4階

全国社会福祉協議会 児童福祉部内

TEL 03-3581-6503 FAX 03-3581-6509

[参加申込み、宿泊・交流会・昼食申込みなど]

東武トップツアーズ(株)鳥取支店（担当：谷本、田中、高橋）

〒680-0845 鳥取県鳥取市富安 2-159 久本ビル 6階

TEL 0857-23-2001 **FAX 0857-27-3327**

【会場案内図】



《アクセス方法》

最寄駅 JR 鳥取駅から徒歩 3 分